

# 平成25年度 第2回

## 受注登録企業動向調査結果報告書

### <概要>

受注量について、昨年9月末調査以来の改善傾向が今回も続き、D I値が僅かではあるがプラスとなった。受注量のD I値がプラスとなったのは、平成23年3月末調査以来のことで、今後の受注見通しについても、さらに増加傾向の見込みとなっている。

一方、受注単価に若干の改善が見られるものの、引き続き採算状況は厳しい結果となっている。

### <今回調査の特徴>

- 受注量：電気機器、樹脂製品で半数以上が受注増。金属製品でも大きく改善。
- 受注見通し：引き続き増加の見通し。特に樹脂製品で顕著。
- 受注単価：全体では改善の傾向も「上昇」の回答は少ない。
- 資金繰り：やや改善も、輸送用機器では4割超が「悪化」。
- 採算状況：全体で悪化の状況。資金繰りの厳しい輸送用機器で「赤字」顕著。
- 受注余力：「余力あり」は8割を切り、4業種で「余力なし」が3割超え。

(平成25年9月末現在)

公益財団法人 京都産業21

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

### (2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	30企業	② 金属製品関係	45企業
③ 一般機器関係	45企業	④ 電気機器関係	45企業
⑤ 輸送用機器関係	30企業	⑥ 精密機器関係	30企業
⑦ 縫製関係	45企業	⑧ 樹脂製品関係	30企業

### (3) 調査時点

平成25年9月30日現在

### (4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

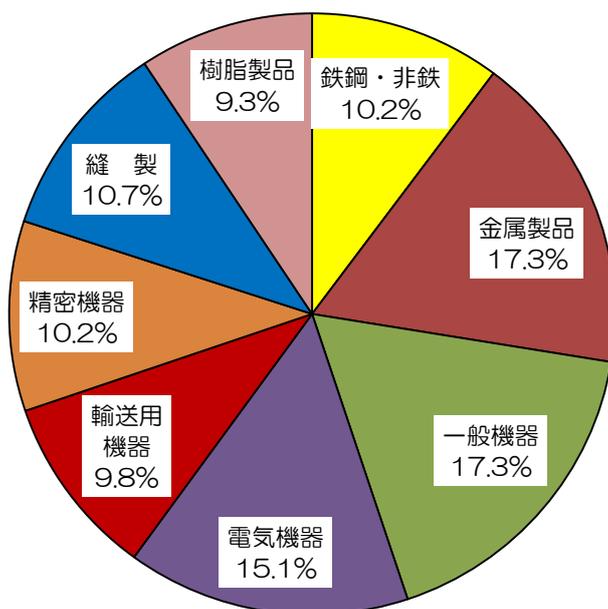
調査項目（受注量、受注量の今後の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

### (5) 回収状況

① 調査対象企業数	300 企業		
② 回収企業	225 企業		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	23 企業	( 10.2% )
	金属製品関係	39 企業	( 17.3% )
	一般機器関係	39 企業	( 17.3% )
	電気機器関係	34 企業	( 15.1% )
	輸送用機器関係	22 企業	( 9.8% )
	精密機器関係	23 企業	( 10.2% )
	縫製関係	24 企業	( 10.7% )
	樹脂製品関係	21 企業	( 9.3% )
④ 回収率	75.0 %		

## 2. 回答企業の概要

### (1) 業種別回答企業の内訳



### (2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
個人	17 7.6%	1 4.3%		1 2.6%		1 4.5%	1 4.3%	12 50.0%	1 4.8%
~300万円	14 6.2%		3 7.7%		2 5.9%	3 13.6%	1 4.3%	3 12.5%	2 9.5%
301~999万円	8 3.6%		2 5.1%			3 13.6%		1 4.2%	2 9.5%
1000~2000万円	127 56.4%	12 52.2%	30 76.9%	22 56.4%	22 64.7%	8 36.4%	14 60.9%	8 33.3%	11 52.4%
2001~5000万円	42 18.7%	6 26.1%	4 10.3%	14 35.9%	7 20.6%	3 13.6%	4 17.4%		4 19.0%
5000万円超	17 7.6%	4 17.4%		2 5.1%	3 8.8%	4 18.2%	3 13.0%		1 4.8%
合計	225 100%	23 100%	39 100%	39 100%	34 100%	22 100%	23 100%	24 100%	21 100%

### (3) 業種別・従業員別回答企業数

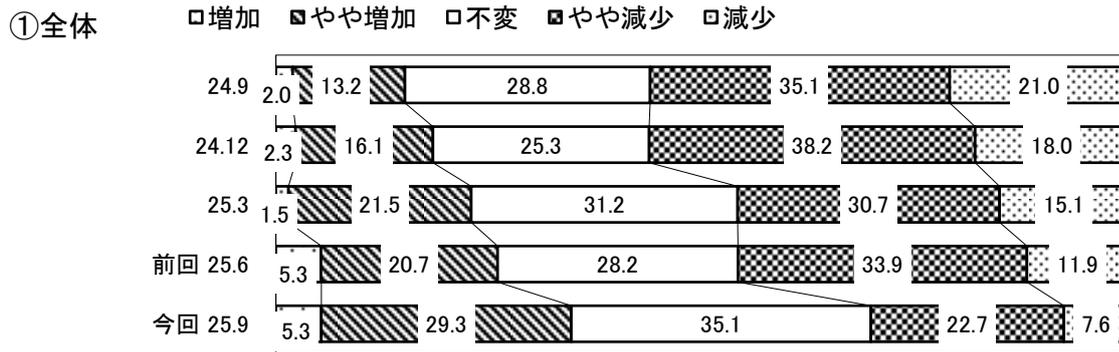
(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
1~5人	34 15.1%	5 21.7%		4 10.3%	2 5.9%	4 18.2%	1 4.3%	14 58.3%	4 19.0%
6~10人	21 9.3%	3 13.0%	5 12.8%	2 5.1%	2 5.9%	2 9.1%	3 13.0%	1 4.2%	3 14.3%
11~20人	66 29.3%	3 13.0%	18 46.2%	12 30.8%	7 20.6%	7 31.8%	7 30.4%	6 25.0%	6 28.6%
21~30人	32 14.2%	3 13.0%	8 20.5%	9 23.1%	5 14.7%	2 9.1%	1 4.3%	1 4.2%	3 14.3%
31~50人	29 12.9%	6 26.1%	3 7.7%	6 15.4%	7 20.6%	1 4.5%	4 17.4%	1 4.2%	1 4.8%
51人以上	43 19.1%	3 13.0%	5 12.8%	6 15.4%	11 32.4%	6 27.3%	7 30.4%	1 4.2%	4 19.0%
合計	225 100%	23 100%	39 100%	39 100%	34 100%	22 100%	23 100%	24 100%	21 100%

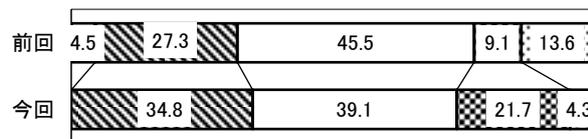
### 3. 調査結果

#### (1) 受注量について

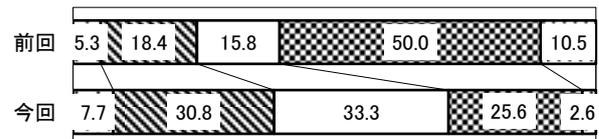
(%)



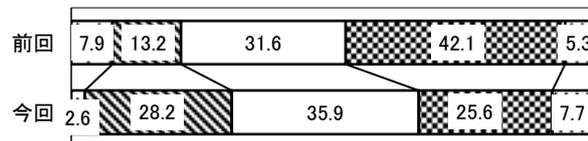
#### ②鉄鋼・非鉄



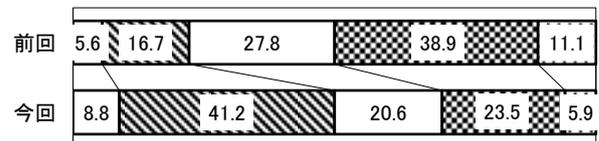
#### ③金属製品



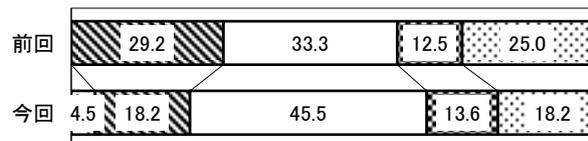
#### ④一般機器



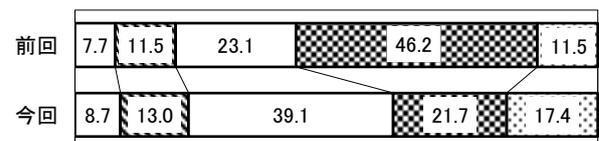
#### ⑤電気機器



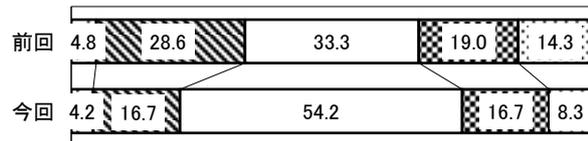
#### ⑥輸送用機器



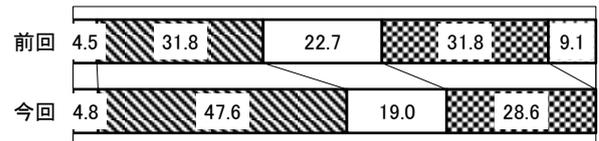
#### ⑦精密機器



#### ⑧縫製



#### ⑨樹脂製品



#### ○全体

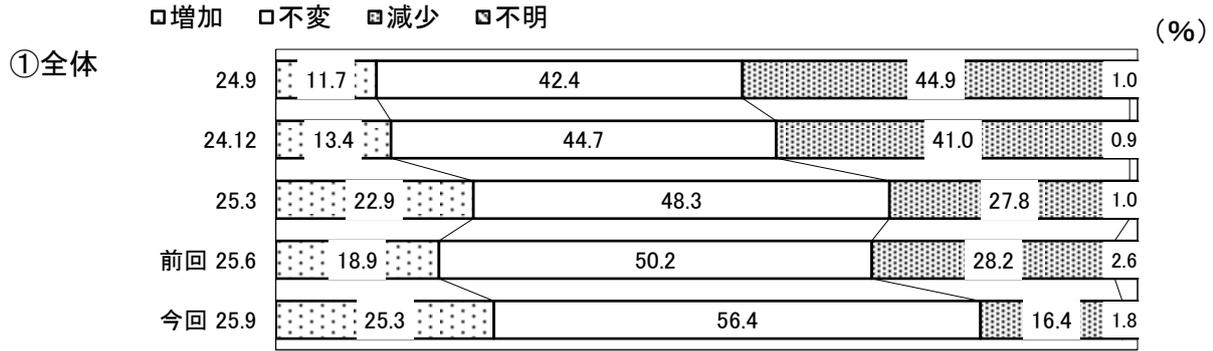
7月～9月期の全体の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は4.3となり、前期（4月～6月）に比べ24.1ポイント改善の傾向が見られる。

#### ○業種別

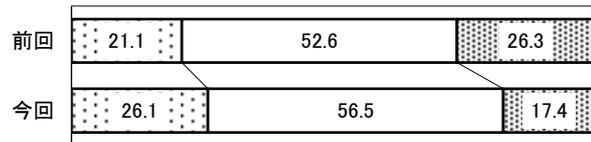
業種別D Iでは、金属製品で「減った」とする企業が28.2%と大きく減少して10.3（前期差47.1ポイント上昇）、電気機器では「増えた」とする企業が50.0%と増加して20.6（前期差48.3ポイント上昇）とそれぞれ大幅な改善がみられる。その他、一般機器でも△2.5（前期差23.8ポイント上昇）、精密機器で△17.4（前期差21.1ポイント上昇）、樹脂製品で23.8（前期差28.4ポイント上昇）と改善が見られる。

一方で、縫製では△4.1（前期差4.2ポイント低下）と悪化が見られる。

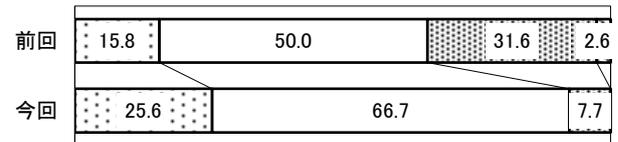
(2) 受注量の今後の見通しについて



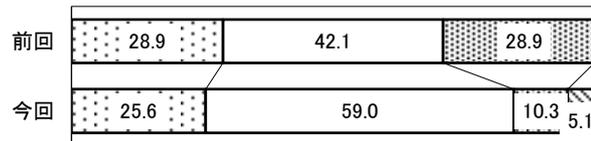
②鉄鋼・非鉄



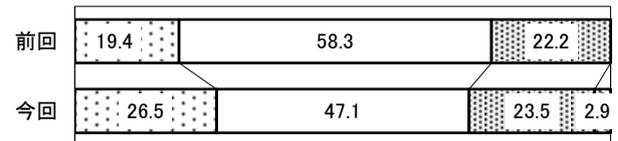
③金属製品



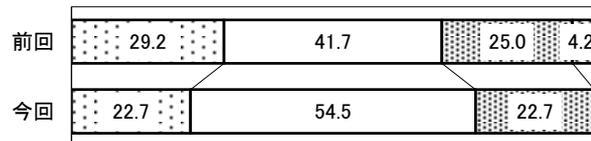
④一般機器



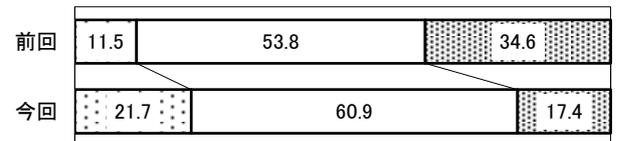
⑤電気機器



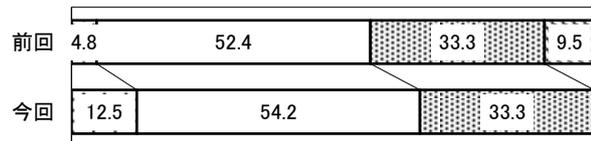
⑥輸送用機器



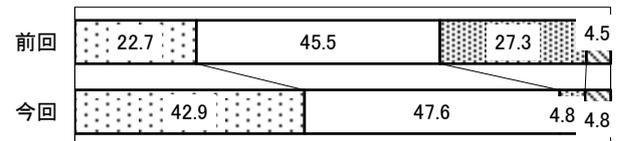
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

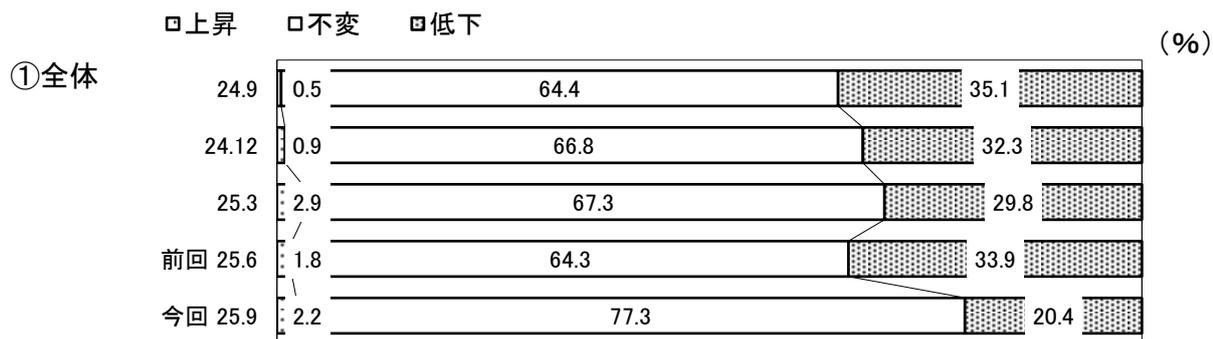
次期（10月～12月期）受注量見通しの全体の業況判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は8.9となり、前回（7月～9月）に比べ18.2ポイントと改善の見通しとなっている。

○業種別

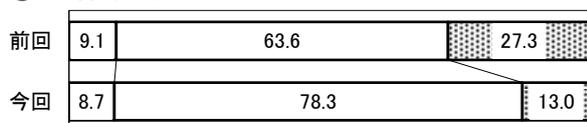
業種別D Iは、「受注量」で増加がみられた金属製品で17.9（前期差33.7ポイント上昇）とさらに増加傾向の見通しのほか、精密機器で4.3（前期差27.4ポイント上昇）、樹脂製品でも38.1（前期差42.7ポイント上昇）と増加の見通し。

一方で、輸送用機器では、プラスマイナス0（前期差4.2ポイント低下）と僅かながら悪化の見通しとなっている。

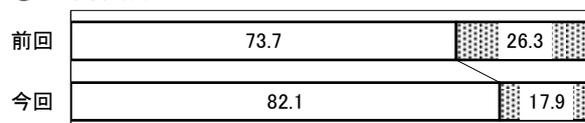
### (3) 受注単価について



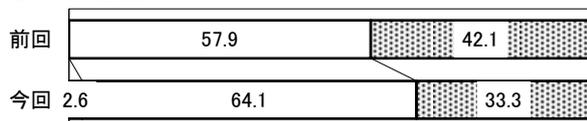
#### ②鉄鋼・非鉄



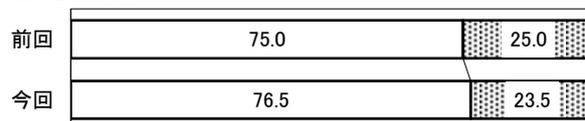
#### ③金属製品



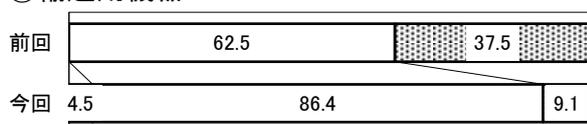
#### ④一般機器



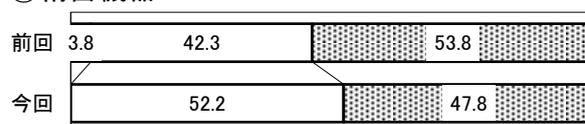
#### ⑤電気機器



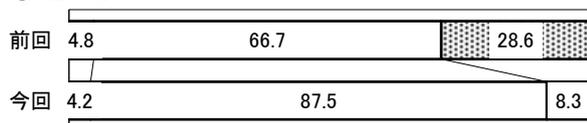
#### ⑥輸送用機器



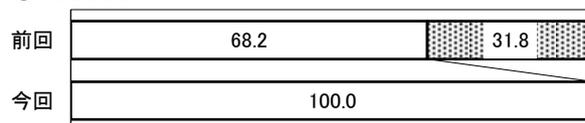
#### ⑦精密機器



#### ⑧縫製



#### ⑨樹脂製品



#### ○全体

7月～9月期の全体の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は△18.2とマイナス幅が縮小し、前期（4月～6月）に比べ13.9ポイントの改善が見られる。

#### ○業種別

業種別DIは、全業種で前期比プラスとなっており、特に、樹脂製品では「低下」とする企業はなく（前期差31.8ポイント上昇）、輸送用機器でも△4.6（前期差32.9ポイント上昇）と改善が見られる。

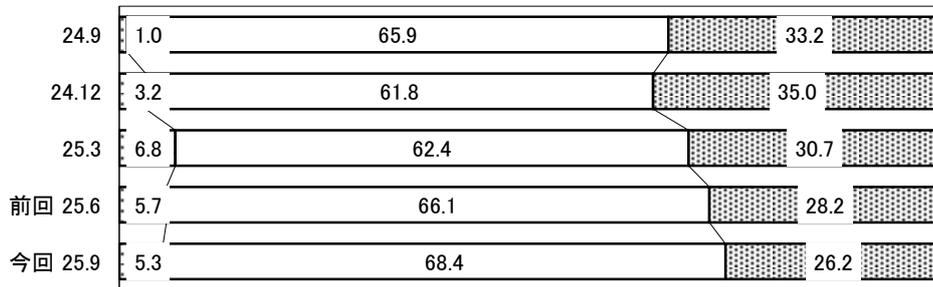
ただし、前期比プラスとはいうものの、一般機器では33.3%、精密機器では47.8%が「低下」としており、また、「上昇」とする回答が特に増えている訳でもなく、まだまだ厳しい状況から脱したとは言い難い。

(4) 資金繰りについて

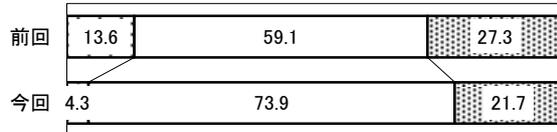
(%)

①全体

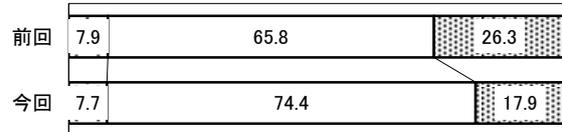
□好転 □不変 □悪化



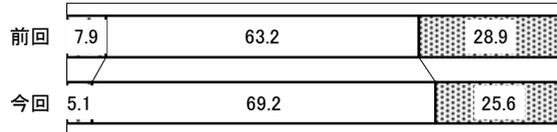
②鉄鋼・非鉄



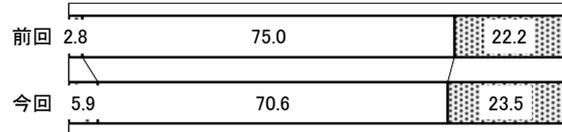
③金属製品



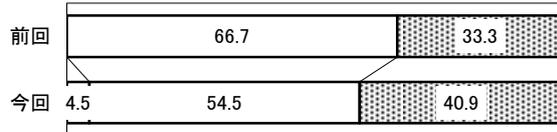
④一般機器



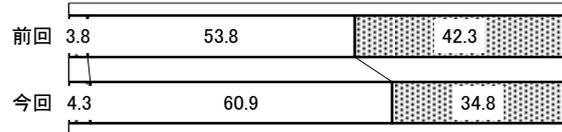
⑤電気機器



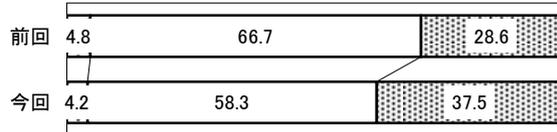
⑥輸送用機器



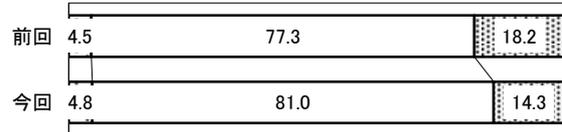
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

7月～9月期の全体の業況判断DI（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は、 $\Delta 20.9$ で前期差1.6ポイント上昇と僅かであるが改善傾向が見られる。

○業種別

業種別DIは、前回調査と比較して大きな変動のあった業種はないが、金属製品では $\Delta 10.2$ （前期差8.2ポイント上昇）と改善が見られる。精密機器でも $\Delta 30.5$ （前期差8.0ポイント上昇）と改善が見られるものの、34.8%もの企業が「悪化」と回答している。

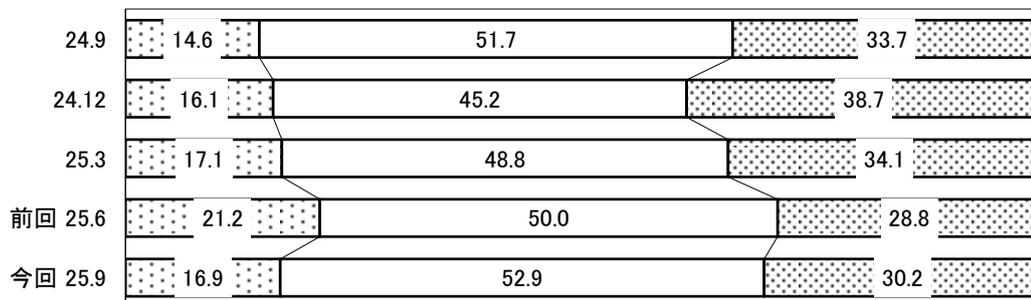
他にも、輸送用機器で40.9%（DI： $\Delta 36.4$ ）、縫製で37.5%（DI： $\Delta 33.3$ ）と「悪化」とする企業が多く見られる。

(5) 採算状況について

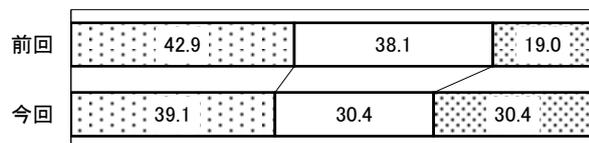
(%)

①全体

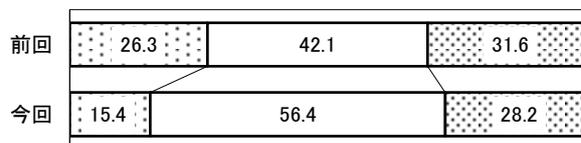
□黒字 □収支トントン □赤字



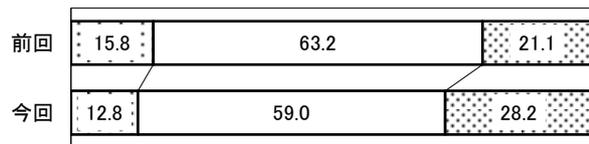
②鉄鋼・非鉄



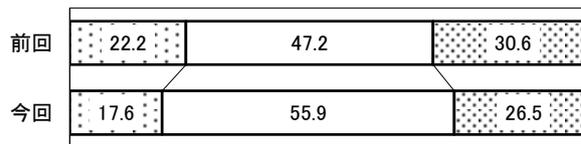
③金属製品



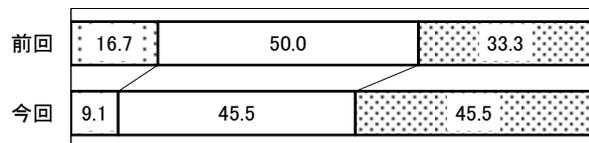
④一般機器



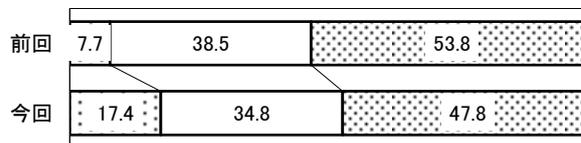
⑤電気機器



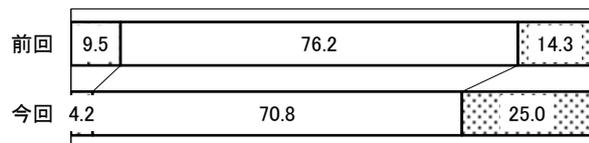
⑥輸送用機器



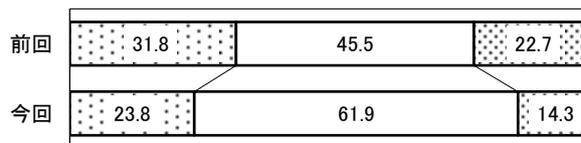
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

7月～9月期の全体の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は△13.3となり、前期（4～6月）に比べて5.7ポイント低下と悪化が見られる。

○業種別

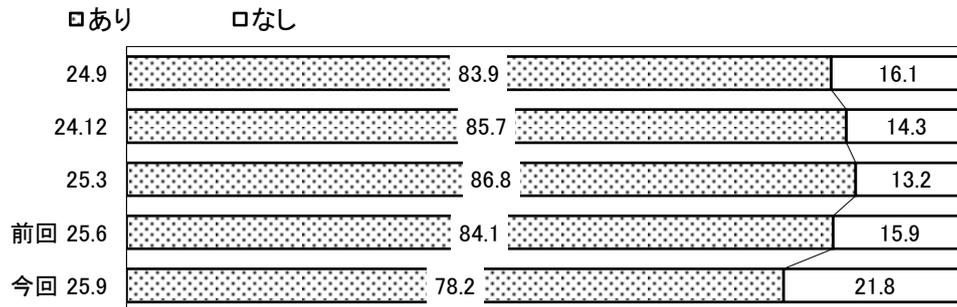
業種別DIは、鉄鋼・非鉄で8.7（前期差15.2ポイント低下）、輸送用機器で△36.4（前期差19.8ポイント低下）、縫製で△20.8（前期差16.0ポイント低下）といずれも前回調査で改善が見られた業種に悪化が目立つ。

逆に、前回調査で大きく悪化が見られた精密機器で△30.4（前期差15.7ポイント上昇）と、やや改善が見られる。

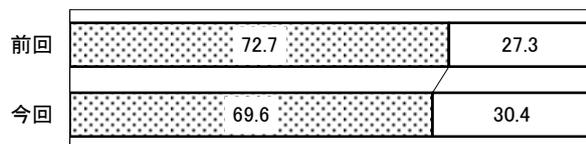
(6) 受注余力について

(%)

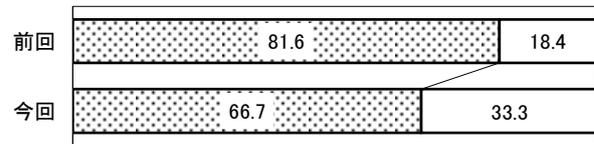
①全体



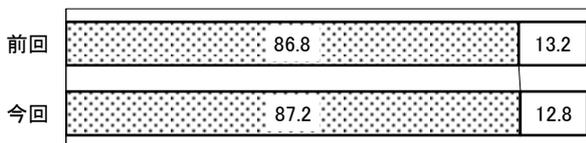
②鉄鋼・非鉄



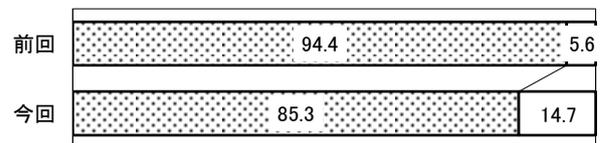
③金属製品



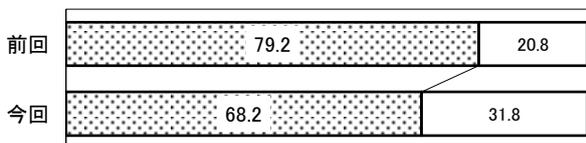
④一般機器



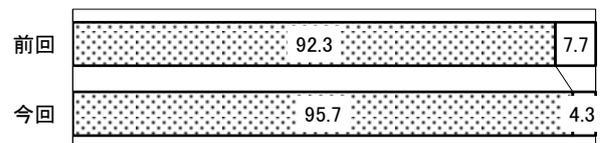
⑤電気機器



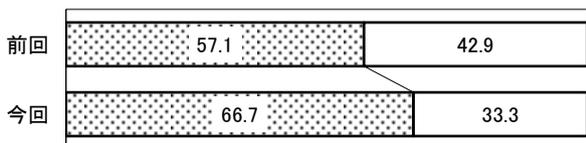
⑥輸送用機器



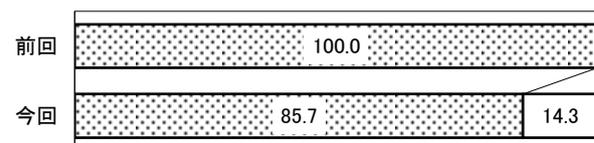
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

「受注余力あり」とする企業は、78.2%と前期に比べて5.9ポイント減った。

○業種別

鉄鋼・非鉄、金属製品、輸送用機器、縫製では、30%を越す企業が「受注余力なし」としている。



公益財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-9234 FAX (075) 315-9240

E-mail: [office@ki21.jp](mailto:office@ki21.jp)

U R L : <http://www.ki21.jp>